

製品名	OpenBlockS™ 600	
製品画像		
型番	OBS600/R	
価格	59,800円(税込) (本体価格:56,953円)	
メーカー希望小売価格	オープン	
保証期間	3年 (標準保証期間1年、ユーザー登録により無償にて3年間に延長)	
CPU	AMCC PowerPC 405EX	
CPU クロック	600MHz	
メインメモリ	1GB (DDR2 SDRAM)	
FLASH ROM (NOR)	128MB (ユーザーエリア64MB)	
ストレージ	CF (1GB標準添付)	
インターフェース	ネットワーク	1000BASE-T×2
	シリアル	5芯結線×2、コンソール用 及び 外部機器用 (Rx/D, Tx/D, RTS, CTS, GND) (コンソール用アダプタ、ケーブル各1個標準添付)
	USB	USB2.0 (外部×2、内部×1)
	JTAG	2×8ピンヘッダ (2.54mmピッチ) ×1
OS	標準サポート:SSD/Linux その他 動作確認:Debian, Ubuntu, Fedora, NetBSD (対応予定)	
電源	ACアダプタ 5V	
消費電力	約8W	
動作条件	温度:0~55℃ 湿度:20~80%Rh (結露しないこと)	
寸法	81 (W) × 133 (D) × 28.8 (H) mm (ゴム足は含まず)	
重量	約240g	
オプション(別売)	CF (2 / 4 / 8 / 16 GB)、シリアル変換アダプタ	

出荷時設定や外装をカスタマイズ

OpenBlockS 600を用いたアプライアンス製品の開発・販売をお考えの企業様には、ワンストップに販売開始が可能な自社ブランド化サポートのご相談も承ります。
また、自社サービスへのスピーディな導入をお求めになるお客様には、ご指定のソフトウェアのプリインストールサービスも承ります。

ソフトウェアのプリインストール

アプリケーションマネージャで提供中のソフトウェアはもちろん、その他の指定ソフトウェアのプリインストール出荷サービス。

デザイン変更

筐体のカラーリング、筐体天面ロゴなどを、貴社オリジナルのデザインに変更。

キットティング

CFカード搭載の有無、ソフトウェアプリインストール、添付品の変更などが可能。

製品個装箱

指定デザインまたは無地の個装箱への変更。



*色合いや、ロゴデザイン、ロット等によりお受けできない場合があります。

※1: CFスロットを除く

※2: 通常の低消費電力1Uサーバー:一般的な低消費電力1Uサーバーとして、消費電力87.22WのTRQC-1/325A (QuadCore Core2Quad Q9300(2.5GHz)、1GB×モリーモジュール (DIMM)、250GB 7200rpm SATA-II HDD、ぶらっとホーム)と比較。

※3: 38.8kg-CO2/kWh: 0.008kWh×0.555kg-CO2/kWh×24時間×365日=38.8(小数点二位以下切捨て) ここでは、以下の算定法に基づき、各種数値を記載しています。

・年間CO2排出量 (kg-CO2) = 消費電力 (kWh) × CO2排出係数 (0.555kg-CO2/kWh) × 24時間 × 365日

・CO2排出係数については、『特定排出者の事業活動に伴う温室効果ガスの排出量の算定に関する省令 (平成18年経済産業省・環境省令第3号)』にて環境省より提示される値 0.555kg-CO2/kWh を用いています。



ぶらっとホームでは、サーバー、コンピュータ周辺機器の設計・開発・製造・販売・保守及びソリューション提供におけるあらゆる面で、市民社会の一員であるにとどまらず地球市民として、環境保護のために自らの役割を考え行動します。

記載の外観・仕様・価格はすべて2009年5月現在のものであり、予告なく変更される場合があります。

ぶらっとホーム、Plat'Home、OpenBlockSおよびオープンブロックスの名称・ロゴは、日本国及びその他の国における、ぶらっとホーム株式会社の登録商標または商標です。

Hinemosは、日本国及びその他の国における株式会社NTTデータの登録商標です。

他、本資料に記載されている会社名および商品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。

ぶらっとホーム株式会社

www.plathome.co.jp

〒101-0021 東京都千代田区外神田1-18-13 秋葉原ダイビル9F

TEL : 03-3251-6111(代表) FAX : 03-3255-9506

営業部 TEL:03-3251-2600 sales@plathome.co.jp

オンライン販売 online.plathome.co.jp

手のひらサイズながら高い堅牢性と柔軟性を両立
スピーディなサーバー構築を実現するトータルソリューション



OBS600/R

価格 59,800円(税込)

(本体価格 56,953円)

メーカー希望小売価格 オープン

手のひらサイズの小型サーバー

OpenBlockS™ 600

openblocks.plathome.co.jp

OpenBlockSとは

企業インフラ用途向けに設計された品質

■企業向けマイクロサーバーのスタンダード

国内Linux市場の興隆に応えるべく登場した初代モデル「OpenBlockS」は、手のひらサイズながら豊富なI/Oと企業用途を想定した高堅牢性・柔軟性が評価され、マイクロサーバー市場におけるファクトスタンダードの座を獲得しました。

■洗練されたサーバークオリティ

OpenBlockSのこうした「サーバークオリティ」は後継機にも受け継がれ、2003年にはサーバー構築に特化したコンパクトな自社ディストリビューション「SSD/Linux」を搭載したOpenBlockS 266を発売。また2005年には、USB 2.0やギガイーサといった拡張性と堅牢性を追求した傍系モデルのOpen MicroServerも発売。ラインナップに幅が出たことで用途はより拡大しました。

■現代のビジネスに対応する最新モデル

ベストセラーとなったOpenBlockS 266の意匠にOpenMicroServerの堅牢性・拡張性を集約し、更なる性能向上を経た最新モデルが、OpenBlockS 600です。現代ビジネスインフラに対応する処理性能、シリーズ最薄のコンパクト性と、更なる広範な活用範囲を実現、あらゆる企業をトータルにサポートします。

OpenBlockSの系譜

2000年 7月	OpenBlockS
2001年10月	OpenBlockSS
2001年12月	OpenBlockSR
2003年 4月	OpenBlockS 266
2004年12月	OpenBlockS 266 (メモリ128MBモデル)
2005年11月	OpenMicroServer
2007年 8月	OpenBlockS 266 (RoHS指令対応モデル)
2009年 5月	OpenBlockS 600

モデル比較

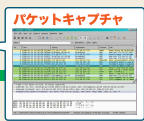
	旧モデル (OpenBlockS 266)	OpenBlockS 600
CPU	PowerPC 405GPr	PowerPC 405EX
クロック	266MHz	600MHz
メインメモリ	128MB	1GB
ネットワーク	10/100 Base-TX x2	1000Base-T x2
FlashROM	16MB	128MB (ユーザーエリア64MB)

CPUが600MHz、メインメモリが1GB、GbEが2ポートに

処理能力の向上により、従来の小型サーバーには不向きだった用途でも活用が可能です。

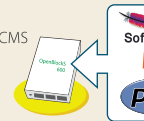
◇パケットキャプチャ・解析

IDSやトラフィックモニタに



◇LAMP・LAPP

グループウェアやCMSの運用に



◇ブリッジ型デバイス

ファイアウォールやセキュリティフィルタに



運用管理を容易にするユーザインターフェース

◇グラフィカルシステムモニタ

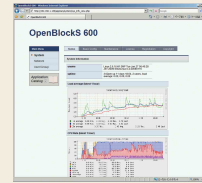
CPU・メモリ・ネットワークの状況を表示します

◇生存情報通知

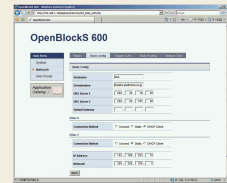
OpenBlockS自体の死活をsyslogに通知します

◇設定ファイルのインポート/エクスポート

他



グラフィカルシステムモニタ



ネットワーク設定

サーバー構築をスピーディに - アプリケーションマネージャ

必要なパッケージを選択するだけ

ネットワーク経由でパッケージリストを取得し、必要なアプリケーションを簡単にインストールできる管理ツール「アプリケーションマネージャ」を標準搭載。コンパイル済みの各種アプリケーションを、GUI上でインストール・初期設定できるため、相性問題や設定方法の習得といった問題に手間をとられず、スピーディにサービスを開始できます。

パッケージソフトウェアからオープンソースまで

アプリケーションマネージャのリストからは、監視ツールやVPNソフトウェアといった、これまでぶらっとホームがアプライアンスに組み込んで販売していたアプリケーションや、様々なオープンソースアプリケーションが、コンパイル済みのバイナリで随時追加・提供されます。

アプリケーションマネージャならばソースの取得や依存関係の確認、コンパイルなど面倒な作業は必要ありません

STEP 1



アプリケーションマネージャ上のカタログから、使用するソフトウェアを選択。

STEP 2



インターネット上の配布サーバーから、ソフトウェアと必要に応じてライセンスが発行されます。
※ライセンスの発行は、ソフトウェアによりメールのみの通知になる場合があります。

STEP 3



ダウンロード終了後、自動でインストールされアプリケーションマネージャ上に管理インターフェイスが表示されます。

収録ソフトウェア 2009年5月現在

■パッケージソフトウェア

- PacketiX VPN【VPNソフトウェア】
- PacketiX Desktop VPN Business【リモートデスクトップ】
- Hinemos®【死活監視ツール】

■管理インターフェース

- DNS【ドメインネーム管理】
- DHCP【動的ネットワーク設定】
- NTP【時刻同期】
- Syslog【システムロギング】

■オープンソースバイナリ

- Perl【プログラミング インタプリタ】
- Ruby【プログラミング インタプリタ】
- OpenJDK【Java仮想マシン】
- PostgreSQL【データベース】
- MySQL【データベース】 他多数

※収録ソフトウェアは予定しているものを含みます。予告なく変更する場合があります。

特長・活用例

高い堅牢性、メンテナンスフリー

OpenBlockS 600は、あらゆるサービスの展開に適合する、高い耐熱性・耐塵性を備え、故障要因を可能な限り排除しています。

全ての構造は堅牢化の目的の下で単純化され、一枚基板・コネクタレス ※1を実現。またファンやHDDといったスピンドルも非搭載で、故障率を大きく低減。こうしたことから半密閉型の筐体が可能となり、ホコリなどへの高い耐性から、設置場所を問わない安定稼働を実現します。発熱部材は全て底面に設置し、高効率な排熱構造とともに、55℃の設置環境での動作保証 (ACアダプタも含む) が可能に。

配電盤や床下といった悪条件下での動作のほか、認証サーバーやシステム監視機器といった、停止できないサービスへの導入により、OpenBlockS 600は高い導入効果を発揮します。

システムの消費電力を削減

OpenBlockS 600の消費電力は約8W。これは、通常の低消費電力型IAサーバー※2の、約10分の1 (右図参照) にあたります。WEBサーバーなど、IAサーバーでは過剰スペックとなるサービスをリプレースすることで、サービスの質は損なうことなく、90.8%もの電力削減を達成します。

環境への配慮: 1000トンのCO2をオフセット済

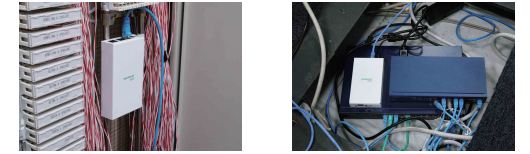
OpenBlockS 600の発売にあたっては、インド・タミルナドゥ地方の風力発電プロジェクトから発生する1,000トンの排出権を三井住友銀行を通じて購入することによる、CO2オフセットが行われています。



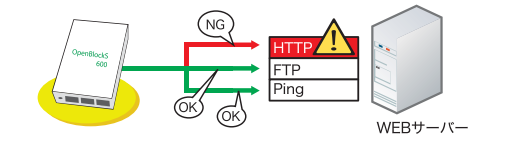
アプライアンス製品のベースハードウェアに

OpenBlockS 600をベースハードウェアとすることにより、貴社ソフトウェアをインストールした手離れのよいアプライアンス製品の開発・販売を、手間なくスピーディに実現できます。

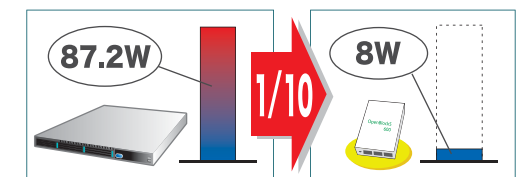
■熱や粉塵の気になる場所へ - MDF内、床下など



■停止できないサービスに - 機器・ネットワーク監視など

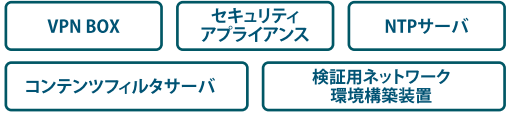


■消費電力 1/10 を実現



	低消費電力IAサーバ ※2	OpenBlockS 600
消費電力	87.2W	8.0W
年間CO2排出量	424.1kg-CO2	38.8kg-CO2 (※3)

■アプライアンス製品開発の例



オープンな仕様で開発をトータルにサポート

オープンソース思想のもと開発されたOpenBlockS 600は、ハードウェアの仕様や周辺機器の情報、搭載ソフトウェアのソースコードなどの情報がWeb上で公開されています。実際のサーバー構築方法も、コマンドラインベースでのチュートリアルが数多く公開されており、開発に余計な手間をかけず、スピーディなサービスの開始が可能です。独自アプリケーションの適用やアプライアンス製品化に携わるエンジニアを、ハードウェアスペックからソフトウェア適用・運用までの全ての面で、トータルにサポートします。OpenBlockS 600に搭載される「SSD/Linux」は、当社が開発・維持・配布を行う、オープンソースの独自ディストリビューションです。SSD/Linuxは、限られたハードウェアリソースで十二分に性能を発揮できるように最適化され、Linux標準コマンドを維持しつつ小型化されたサーバー構築やアプライアンス開発に特化したOSです。

初期化実行 (ファクトリーリセット) 時の設定やルートデバイスサイズの変更等、カスタムファームウェア開発を行う事も可能です。当社WEBサイト「オープンラボラトリ」では、最新のSSD/Linuxおよび開発環境 (セルフ/クロスコンパイル環境) に加え、アプライアンスの実装手順やコンパイル済みアプリケーション等の情報を日々更新し、無償で公開/配布しています。OpenBlockS 600は、Debian, Fedoraに対応しています。OSイメージを展開し、CFをルートデバイスとして設定することで利用でき、インストールガイドの提供も行っています。



詳しくはWebサイトにて
<http://openblocks.plathome.co.jp/>

openblocks 検索